

# 大教会の諸活動

## ▼月定例行事▲

4日	岡心勇隊佐賀地区
8日	岡心勇隊奈良中和
9日	岡心勇隊五條橋本(あやの台)
13日	岡心勇隊八幡地区
15日	大教会ひのきしん(道弘)
16日	鼓笛隊練習日
18日	岡心勇隊大阪地区
21日	大教会ひのきしん(相嘉)
22日	祭典準備ひのきしん 役員会議 大教会ひのきしん
22日	(表野・飛鳥川・岡秋)
22日	婦人会伏せ込みひのきしん
23日	大教会月次祭
24日	役員・直属教会長連絡会議
25日	大教会ひのきしん(東松浦・西北)
25日	おちば伏せ込み団参(早朝)
25日	KOG係員お願いごとめ
26日	本部月次祭 祭典後お礼づとめ
29日	岡心勇隊博多地区
30日	岡心勇隊姪浜会場
第一日曜日	おちば伏せ込み団参(午前中)

## ▼6月と7月のその他行事▲

6月	7月
1日	5/25
5/30	16日
5/30日	第5次オーストラリア布教隊
23日	全世界一斉布教月間(青年会)
24日	学生層育成者講習会
27日	婦人会委員長講習会
29日	教会長おやさと研修会
29日	第27回南相馬ひのきしん隊
29日	「こどもおちがばえり」
25日	8/3日 KOG特別ひのきしん

# 教務報

### ◆大教会人事

- ・少年会岡岡委員(4月23日付)  
西大阪 丸田真久
- ・岡学生担当委員会委員(4月23日付)  
西大阪 丸田真久

### ◆食堂ひのきしん者(4月16日～4月30日)

- 鶴城 佐渡島 美恵子
- 芦刈 山内健司

### ◆教養掛(6月)

- 鳥飼 古川道則

### ◆修養科第922期修了者(4月27日修了)

- 道弘 高野 楓
- 別席願(4月16日～5月15日詰所受付分)  
芦刈 本村勝義  
芦刈 本村紀代子  
須光 眞部美月  
岡瀧 山崎正美

### ◆おさづけの理拝戴者

- (4月16日～5月15日詰所受付分)  
道弘 高野 楓

### 【訃報】

- 高場正春氏(91歳) 5月16日お出直し  
大教会准役員 東松浦分教会役員  
東志免分教会初代会長(東松浦)  
葬儀は、吉田政彦・東松浦分教会長齋主のもと、5月17日みたまうつし、18日告別式が執り行われました。
- 江里トミエ氏(84歳) 4月27日お出直し  
住之郡分教会三代会長夫人(東松浦)  
葬儀は、吉田政彦・東松浦分教会長齋主のもと、4月29日みたまうつし、30日告別式が執り行われました。

# 岡大教会連絡報

立教一八一年 六月号(五月二十三日発行)

岡大教会ホームページ



oka.or.jp

発行所  
高市郡明日香村岡 395  
〒634-0111

天理教岡大教会

電話(0744)54-2002  
FAX(0744)54-3889  
E-mail info@oka.or.jp

POINT

## 今月のメッセージ 「食べさせて楽しませ」



「伊八郎夫婦(敷島初代)は、人に食事をもてなすのが非常に好きな性格であった。」“根のある花・山田伊八郎”の中の文章です。

「食べるということは、親神様が人間に与えて下さっている楽しみの中でも、最も大きな楽しみとして与えてくださったものや。お互いみんな食べさせて頂けるということは、どんなに有難い結構なことかしれん。一日のうちでも寝る楽しみは夜一度だけやが、食べるのは三度や。どれくらい芝居好きな人でも365日三度三度行く人もあるまい。楽しむのも食

物なら楽しませるのはなおのこと、食物に優るものはない。食物の徳は大きい。食物の罪もまた大きい。」

学生時代を過ごした東京教務支庁の三才寮に萩田という寮母さんが居て、ばらばらに生活する寮生に可能な限り温かいものを食べさせて下さった。時には洗濯までしてもらったこともあります。思い出すと今でも温かい親心に包まれ癒やされます。教祖の教えは親の教え、温かい親心の教えです。それが温かい食べ物を通し、底にある温かい心を通して人の心に届くのでしょうか。(吉田)

## 大教会からのご案内

### ■オーストラリア布教隊(第5次隊)

日程/5月27日～6月15日  
場 所/熊本県益城町の仮設団地

■全世界一斉布教月間(青年会)  
日程/6月1日～30日の一カ月間  
※6月の一カ月間、全世界で一斉に青年会員による布教活動が展開されます。

### ■熊本地震復興支援

日程/6月17日(日)  
場 所/熊本県益城町の仮設団地

### ■学生層育成講習会

日程/6月23日 祭典終了後  
場 所/大教会参拝場

### ■婦人会委員長講習会

日程/6月24日 午前9時～  
場 所/大教会神殿、食堂ホールなど

### ■第27回南相馬ひのきしん隊

日程/6月29日出発～7月1日帰着

この「ご案内」は概略しか掲載していません。

詳しくはこちら!



Scan to discover!







「こかん様に続く会」では、女子青年がペープサートを披露

関西と九州の2会場で学生会行事を開催した「岡学生会」。新入生やスタッフを含む約50人が参加し、互いの交流を深めた



学生会行事では、十三峠を越えての徒歩団参り、繁華街での神名流しやゴミ拾いなどを実施し、実動を通して信仰と向き合った

5月には、部内一斉の「婦人交流巡教」が実施された



# 各部会が活発な実動を展開

## 旬を迎える理づくりと伏せ込み、そして次代を担う人材の育成

現在、大教会挙げて展開されている「暮らしの中のをいがけ」と、2年後に迎える「婦人会創立110周年」へ向けた活発な実動を目指して実施された全部内教会への「婦人交流巡教」。巡教員によるお話を通して、普段の生活の中にある親神様のご守護と教祖のお導きを感じ取り、感謝の心を大切に、理づくりや伏せ込みへと動くことの大切さを学んだ。また、婦人会岡支部女子青年部の「こかん様に続く会」や、岡学生会が開催した「春の学生の集い in 関西」と「九州春の集い」では、次代を担う若人が教理の実践を通して信仰と向き合い、互いに交流を深めた。今年10月に「創立100周年」を迎える青年会は、部内教会への巡回を実施し、主体的にのをいがけに歩くなど、旬を迎える理づくりと伏せ込みに燃えている。



※Web上で、諸活動を写真付きで詳しく紹介中—ぜひご覧ください。